

# 全鉄連流通動態調査結果表 2020年11月分

(2020.12.22)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		10月実績	前月比	11月実績	前月比	11月実績	前月比	11月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	4,824	85.0%	38,081	85.7%	38,188	84.3%	4,717	97.8%	
	大阪	2,541	100.8%	17,261	101.9%	17,095	101.0%	2,707	106.5%	
	愛知	2,916	101.1%	5,342	97.9%	5,347	98.6%	2,911	99.8%	
	計	10,281	92.8%	60,684	90.8%	60,630	89.6%	10,335	100.5%	
形鋼	山形鋼	東京	16,688	97.8%	8,525	97.4%	8,384	92.0%	16,829	100.8%
		大阪	19,992	107.1%	8,932	84.1%	8,708	93.8%	20,216	101.1%
		愛知	7,285	102.2%	5,182	99.1%	4,631	91.3%	7,836	107.6%
		計	43,965	102.6%	22,639	92.1%	21,723	92.6%	44,881	102.1%
	溝形鋼	東京	14,834	99.3%	5,440	88.8%	5,643	90.5%	14,631	98.6%
		大阪	10,300	99.2%	6,468	108.4%	5,497	91.0%	11,271	109.4%
		愛知	5,200	104.4%	3,647	94.7%	2,718	74.8%	6,129	117.9%
		計	30,334	100.1%	15,555	97.6%	13,858	87.1%	32,031	105.6%
	H形鋼	東京	27,969	99.8%	15,764	91.5%	15,422	89.2%	28,311	101.2%
		大阪	42,327	97.8%	26,061	98.2%	24,785	90.1%	43,603	103.0%
		愛知	16,657	95.4%	8,871	96.0%	9,593	95.5%	15,935	95.7%
		計	86,953	98.0%	50,696	95.6%	49,800	90.8%	87,849	101.0%
合 計		161,252	99.6%	88,890	95.0%	85,381	90.6%	164,761	102.2%	
コ ラ ム	東京	8,475	101.0%	2,535	74.5%	2,692	81.2%	8,318	98.1%	
	大阪	15,202	100.9%	3,170	92.5%	2,939	89.3%	15,433	101.5%	
	愛知	1,242	104.6%	1,459	169.3%	1,234	152.9%	1,467	118.1%	
	計	24,919	101.1%	7,164	93.2%	6,865	92.6%	25,218	101.2%	
軽量C形鋼	東京	3,430	103.7%	2,159	89.6%	2,388	104.4%	3,201	93.3%	
	大阪	2,913	102.1%	1,810	97.0%	1,686	93.4%	3,037	104.3%	
	愛知	2,122	97.1%	994	92.0%	986	86.3%	2,130	100.4%	
	計	8,465	101.4%	4,963	92.7%	5,060	96.6%	8,368	98.9%	
総 計		204,917	99.5%	161,701	93.2%	157,936	90.5%	208,682	101.8%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。